

あべともこニュース

熟議の民主主義を目指して

◆与野党伯仲の国会論戦

14日、立憲民主党は、3.8兆円の予算修正案を発表しました。ここには、学校給食無償化(4900億円)私立を含む所得制限のない高校無償化(3709億円)ガソリン・軽油の暫定税率廃止(1兆4999億円)高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げ凍結(200億円)介護・障害者福祉施設で働く人の処遇改善(4225億円)が盛り込まれました。

国会会審議では、“数の論理”で野党の声はほぼ議論されないに等しい状態が続いていましたが、先の総選挙後から少数与党の状態となり、与党(政府)が法案を通過させるためには、野党の一部からの賛成をとりつける必要があります。一般会計の総額、約115兆5000億円が示されていた中、修正がされるのは、96年の橋本龍太郎内閣以来29年ぶり、5回目。予算が固まるのは、3月2日頃と言われていますが、伯仲した国会論戦に引き続き注目ください。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区(藤沢市・寒川町) 当選9回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック(湘南台)理事長 現在、環境委員会 原子力問題調査特別委員会委員

あべともこ 公式X(旧Twitter) @abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko

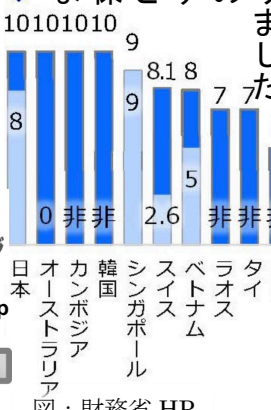
あべともこ事務所 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

◆せめて食料品の消費税ゼロに

昨年の夏の米騒動以来、主食であるお米の価格の高騰が続いています。冬場と重なり、特に生鮮食料品が高くなり、また鳥インフルエンザの影響で卵まで高くなりました。

国の政策上は、温暖化や戦争の多発の中で、自国で生産した食料がきちんと国民の手に渡るよう、とりわけ主食の米は第一優先ですから、立憲民主党でも農家の個別所得保障による米価の安定を提案しています。更に消費税減税には党内にも色んな意見がありますが、先日七十名余りの議員が集まって、食料品の消費税ゼロを党の政策にするよう、求めていくことになりました。



◆「補助犬法」成立から23年、まだまだ道のりは遠く...

阿部とも子が事務局長を務める「ほじよ犬議連」総会が2月14日に行われ、2002年に成立した身体障害者補助犬法の理念とエピソードを当時の関係者に語っていただきました。初代事務局長だった前宝塚市長の中川智子さんからは、ユーザーさん達の悲願を形にすべく議員間の心意気や党派を超えた信頼関係について、また当時法案作成を担当した奥さん(現法制局審査部長)からは、立法理念を法文に落とし込むための省庁間の調整や文言の精査などを分かりやすく伝えて頂き、補助犬法成立の瞬間を喜び合ったユーザーさんたちも感慨新たに。でも補助犬と外出できる安心感や喜びが語られる一方で、まだまだ受け入れ拒否が後を絶たないことが指摘されました。ほじよ犬がロボットでなく生きていくことの意味、命が共鳴しあってお互いに支えあう大切なパートナーであること、を多くの方に伝える、普及のために、まだまだ議論は続きます。



議連総会にて